

RPA 等ライセンス調達仕様書 (令和8年度版)

令和8年6月

宮崎県総合政策部デジタル推進課

1 件名

RPA 等ライセンスの賃貸借及び保守

2 賃貸借期間

令和8年7月1日から令和9年6月30日まで

3 納入場所及び納入期限

原則として、次の場所において令和8年7月1日までに納入を行うこと。ただし、本県が納品場所を別途指示する場合はこの限りではない。

〒880-8501

宮崎市橋通東2丁目10番1号

宮崎県総合政策部デジタル推進課デジタル県庁担当

電話：0985-26-7045

4 ライセンスの種類及び数量

(1) RPA

(ア) 稼働環境構築の前提

RPA 稼働環境は既に構築済みで、ソフトウェアは WinDirector、WinActor であるので、RPA ソフトウェアの稼働に必要な以下のライセンスを賃貸すること。

a WinDirector

(a) ライセンス 1本

b WinActor

(a) フローティングライセンス版アドミン	1本
(b) フローティングライセンス版フル機能版ライセンス	6本
(c) フローティングライセンス版実行版ライセンス	30本
(d) ノードロック版フル機能版ライセンス	2本
(e) ノードロック版実行版ライセンス	5本

(イ) その他

本業務の実施に当たって必要なライセンスを賃貸した後、関係資料（ライセンス証書、ライセンス種別、ライセンス数、ライセンス料等）を本県に提出すること。

(2) AI-OCR

(ア) 稼働環境構築の前提

AI-OCR 稼働環境は既に構築済みで、ソフトウェアは NaNaTsu AI-OCR with DX Suite (LGWAN 版) であるので、AI-OCR 稼働に必要なライセンス（1ライセンス）を賃貸すること。当該ライセンスには賃貸料相当の OCR 読み取り利用枠を含むものとし、その利用枠を超え

て OCR 読み取りを利用した場合は、超過利用料を支払うこととする。

なお、契約期間における OCR 読み取り項目数は、通常の読取項目換算で、ライセンスの利用枠と超過利用枠を合わせて、以下のとおり最大 618 万項目を想定している。

- (a) ライセンスの利用枠分 1月あたり 10 万項目（計 120 万項目）
- (b) 超過利用分 下表のとおり

読み取り項目		想定される項目数
アプリケーション	種類	
Intelligent OCR	・空欄と認識された項目 ・チェックボックス ・ワークフロー欄にてエントリーのみを指定した項目	1月あたり 165,000 項目 (計 1,980,000 件)
	・通常の項目（上記に該当しないもの）	1月あたり 200,000 項目 (計 2,400,000 件)
Elastic Sorter	・1点の画像の仕分け処理	1月あたり 50,000 項目 (計 600,000 件)

(イ) その他

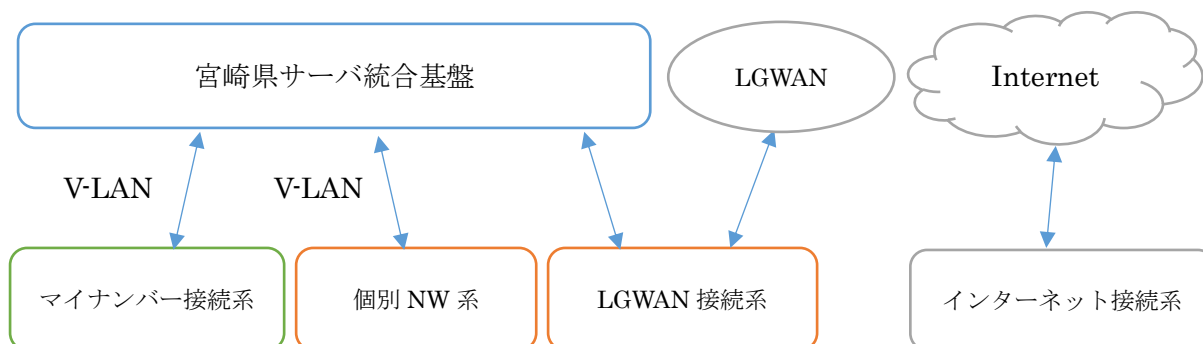
本業務の実施に当たって必要なライセンスを賃貸した後、関係資料（ライセンス証書、ライセンス種別、ライセンス数、ライセンス料等）を本県に提出すること。

5 ライセンスの保守

ライセンスの使用に伴い必要となる保守業務を行うこと

6 情報システムの稼働環境

(1) システムの全体構成



※各業務システム（庶務事務、財務会計）の多くは LGWAN 接続系で稼働しているが、個人情報取扱事務などのシステムはマイナンバー接続系もしくは個別ネットワークで稼働している。

(2) 端末環境

本県の標準的なパソコン環境は以下のとおりである。

ただし、所管課が個別に導入しているものもある。

項目	備考
型	• A4判ノートタイプ
CPU	• Intel Core i5-1135G7 相当以上
メモリ	• 8GB 以上
ハードディスク	• SSD:256GB (Serial ATA) 以上、本体内蔵型
OS	• Windows11 Pro 64 ビット (日本語版)
オフィス	• Microsoft Office 365
ウイルス対策ソフト	• WatchGuard EPDR • Menlo Security